

日本呼吸器学会雑誌投稿規定

1. 編集方針

日本呼吸器学会雑誌 (The Journal of The Japanese Respiratory Society (以下, 本誌と略す) は, 社団法人日本呼吸器学会 (以下, 本会と略す) の機関誌として, 呼吸器に関する基礎的・臨床的研究を発表するものである。本誌の論文内容は新しい知見に基づき, 本会の会員を含め, 多数の読者に対して寄与するものと認められたものに限られる。

2. 投稿資格ならびに条件

投稿論文は Respirology 誌からの二次発表を除き, 他誌に発表されていないものとする。

Corresponding author が本会の会員であれば, 筆頭著者・共著者を含め非会員でも可とする。

なお, 論文の著者数については, 原著・総説は 10 名以内, 症例報告・症例報告 (画像診断)・短報は 6 名以内, Letters to the Editor は 3 名以内とし, それを超える場合は, それぞれの役割を記載した文書を添付すること。

査読後の再投稿論文は 3 ヶ月以内に再送付すること。3 ヶ月を経過した論文は取り下げとして取り扱うこととする。

第 1 報, 第 2 報に分けた論文は原則として採用しない。

3. 論文の採否

論文の採否は編集委員会で決定する。

4. 論文の種類

I. 原著 II. 症例報告 III. 症例報告 (画像診断) IV. 総説 V. 短報 VI. Letters to the Editor とする。原著は, 基礎及び臨床研究に基づくものである。症例報告で報告の中心が画像である場合は, 症例報告 (画像診断) への投稿が望ましい。総説 (ミニレビュー, 特集等) は原則として編集委員会が企画するが, 投稿も受付ける。

短報は, 速報性を重視した内容で, 後述する長さとする。

Letters to the Editor は, 過去 6 ヶ月以内に本誌に発表された論文について, 各種意見 (質問・討議など) をまとめる。

採否は編集委員会の議を経て決定する。これを希望する場合はその旨を原稿に明記する。

5. Respirology 誌からの二次発表論文

本会指定の英文誌 Respirology 誌からの二次発表は, 英語から日本語への言語変換のみで, 論文内容の加筆・修正・変更は行わないものとする。本誌に掲載後, 本会にて所定の審査を経て二次発表であることを明示して掲載する。

6. 原稿の書き方

原稿はワードプロセッサにて作成し, 横書き, 新かなづかいのわかりやすい口語体を用いること。プリント原稿は A4 版で, ダブルスペース (行間を 1 行分あける) で入力する。フォントサイズは 12 ポイント以上で, 英文抄録は半角文字で原稿を作成する。医学用語は, 社団法人日本呼吸器学会編 呼吸器学用語集—改訂第 4 版— (以下, 呼吸器学会用語集) に準ずる。

略語は最初に用いるときは必ず略さず書くこととする。なお, 表題及び要旨は略語を用いてはならない。

7. 電子メディア

掲載が認められた論文は最終原稿に電子メディア (CD-ROM, USB, フロッピーディスクなど) を添付する。

8. 論文の構成

原著, 症例報告, 症例報告 (画像診断), 総説及び短報は, ①表題, 著者名, 会員の会員番号, 所属機関名及び連絡先, ②要旨, ③キーワード, 短縮表題, ④緒言, ⑤研究対象, 方法, ⑥成績, ⑦考察, ⑧謝辞, ⑨引用文献, ⑩図・表とその説明, ⑪英文抄録を, ①から⑪の順序で構成し, ページ番号を下中央に記入する。①②③④⑧⑨⑩⑪についてはそれぞれ改頁して記載する。

①表題, 著者名, 会員番号, 所属機関名及び連絡先

表題は 40 字以内とし, 簡潔で内容を適切に示すものとする。

②要旨

要旨は 400 字以内とし, 研究目的, 主な知見 (できれば具体的な成績) と主要な結論を述べる。

③キーワード, 短縮表題

キーワードは 5 語以内で日本語と英語 (半角文字) を併記する。その選択には, 医学中央雑誌医学用語シソーラス (第 1 版, 1983, 医学中央雑誌刊行会), 日本語医学用語辞典 (日本医学会), 呼吸器学会用語集などを参照する。短縮表題 (running head) は 25 字以内とする。

⑨引用文献

原則として, 原著 30 編以内, 症例報告・症例報告 (画像診断) 20 編以内, 総説は制限なし, 短報は 6 編以内, Letters to the Editor の引用文献は 3 編以内とする。

文献は本文に引用された順に番号 (上付き) をつけ, 末尾に一括し記載する。

共著者 3 名以内 (4 名以上は, 和文誌は他, 英文誌は et al とする), 表題, 雑誌名 (医学中央雑誌及び Index Medicus の記載に従う), 年 (西暦); 巻: 頁 (開始頁と終了頁) の順に記載する。

例: 和文誌 石井健男, 大内尉義, 慶長直人, 他. NADPH/NADH oxidase の遺伝子多型とびまん性汎細気管支炎 (DPB), 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) との関連についての検討. 日呼吸会誌 2001; 39: 328—32.

英文誌 Jones DA, Howell S, Roussos C, et al. Low-frequency fatigue in isolated skeletal muscles and the effects of methylxanthines. Clin Sci 1982; 63: 161—7.

単行本 武藤 敬, 小山信一郎, 堀江孝至. び慢性汎細気管支炎. 太田保世, 川上義和編. 呼吸器病学. 中外医学社, 東京, 1990; 165—71.

Rall TW. Central nervous system stimulants (continued): The xanthines. In: Gilman AG, Goodman LS, Gilman A, ed. The Pharmacological Basis of Therapeutics. 6th ed. New York: Macmillan, 1980; 595—607.

⑩図・表・写真

図・表・写真に用いる文字は英字とし, 説明は英文, 半角文字で作成する.

- ・説明文は, 図とは切り離して別紙に記述する.
- ・説明文は, 最低それ自身で本文を読まなくとも分かるだけの情報は盛り込む.
- ・表は A4 サイズとし, 図・写真は原則としてキャビネ大以上 A4 までとし, 高品質のものとする.
- ・裏面に著者名, 図・表・写真の番号および上方を明記したラベルを添付する. 本文中にこれらの挿入の場所を指定する.

⑪英文抄録

250 語以内 (表題, 著者名, 所属機関, 本文) とする. 連絡先を含まない.

9. 度量衡の単位, 薬剤名・細菌名の記載法

①度量衡の単位

m, cm, mm, ml, kg, mg, μ g, Torr などを用いる.

②薬剤名の記載法

初出は, 一般名 (generic name) を片仮名で表示し, 括弧内に欧文フルスペルで表示すると共に, 抗菌薬などでは略号を付記する.

例; メロベネム (Meropenem; MEPM)

スルファメトキサゾール・トリメトプリム (Sulfamethoxazole-Trimethoprim; ST)

2 回目からは片仮名, 欧文フルスペル, 略号のいずれかのみで表示する.

- ・略号は関連する学会の制定したものがあればそれを用いるのが望ましい (例: 抗菌薬名は日本化学療法学会制定の略号)
- ・製品名 (商品名) の記載は原則として避けるが, やむを得ず使用する場合は製品名の右肩に商標登録マーク (®) を記載する.

例; メロベン®, バクタ®

③細菌名の記載法

初出はフルスペルにてイタリック体で表示する.

例; *Streptococcus pneumoniae*

Nocardia farcinica

2 回目からは略名で表示する.

例; *S. pneumoniae*

N. farcinica

ただし, 属名のみで表示して種名を表示しないときには属名は略さないで表示する.

例; *Streptococcus* sp. あるいは *Streptococcus* 属

Nocardia sp. あるいは *Nocardia* 属

10. 原稿の長さ

原則として, 原著では 10,000 字以内, 症例報告・症例報告 (画像診断) では 6,000 字以内, 総説では 12,000 字以内, 短報では 3,000 字以内, Letters to the editor では 1,000 字以内とする. また, Letters to the Editor は原則として図表は認めないが, 図表が必要な場合は 1 点 (400 字換算) のみとする.

なお, 文字数は, 図・表・写真 (1 点 400 字換算) を含め作成原稿の表題から, 最後の英文抄録までとする.

11. 原稿の送り方

原稿は封筒の表に投稿原稿在中と明記する. 本文・写真・図・表の各々 3 組 (写真のコピーは不可) に著者同意書, 投稿原稿チェックリスト, 著作権に関する同意書, 他誌重複投稿をしていないことに関する著者の誓約書を添えて簡易書留にて下記に送付する.

送付先: 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-28-8 日内会館 7 階

日本呼吸器学会 学会雑誌編集部

12. 著者校正

著者校正は 1 回とする.

13. 掲載料

原則として, 総説, 原著では 4 頁以内, 症例報告, 症例報告 (画像診断) では 3 頁以内, 短報では 2 頁以内 (いずれも刷り上がり) 及び Letters to the Editor の掲載は無料とするが, 次の場合はその実費を著者の負担とする.

- a) 超過頁料
- b) 作り直した図版下の製作費
- c) カラー刷りの制作費 (1 頁につき約 100,000 円)

14. 別刷

著者の希望により 50 部単位で作成し, その費用は著者の負担とする.

著者校正のときに 50 部単位で申し込む.

15. 超過頁料金および別刷料金

超過頁料金

1 頁につき 12,000 円

別刷料金

別刷数 50 部の場合

40 円×頁数×部数

別刷数 100 部, 150 部の場合

35 円×頁数×部数

別刷数 200 部以上の場合

25 円×頁数×部数

16. 地方会抄録

特別講演, シンポジウム, 一般演題ともに演題名, 所属名, 演者名のみとする.

17. 著作権

本学会誌に掲載された論文の著作権は日本呼吸器学会に属する.

18. 著作権使用料

掲載論文の著作権使用料

3,000 円×頁数+10 円×部数

掲載論文の著作権使用料 (日本呼吸器学会賛助会員)

5 円×部数

附則 平成 18 年 7 月 24 日一部改訂

附則 平成 20 年 9 月 30 日一部改訂

註: 症例報告 (画像診断)

①報告の中心となるデータが画像 (X 線写真, CT 画像, シンチグラム, 病理所見など) である症例

②原稿の長さ・書き方は投稿規定に準ずるが, 以下の点にご注意下さい.

- ・拡大希望の写真を指示すること.
- ・印刷に不適当な焼き付けは, 改めて原版を送ってもらい当方で焼き付けを行うことがある.
- ・結語は不要.
- ・写真を大きく掲載するため記述は簡単にすること.

【編集委員】

(アイウエオ順)

委員長: 河野 修興

副委員長: 江口 研二, 檀原 高, 横山 彰仁, 渡辺 彰

委員: 青柴 和徹, 赤柴 恒人, 石川 暢久, 石崎 武志, 石田 直, 井上 義一, 越久 仁敬, 金澤 實,

木浦 勝行, 弦間 昭彦, 後藤 元, 近藤 丘, 相良 博典, 菅 守隆, 瀬山 邦明, 伊達 洋至,

濱田 泰伸, 檜澤 伸之, 藤田 次郎, 星野 友昭, 宮本 顕二, 柳生 久永, 矢野 聖二, 山口 悦郎,

山谷 睦雄

担当幹事: 服部 登

編集協力: 安藤 昌彦, 大舘 祐治, 酒井 文和, 松原 修

顧問: J.P. バロン

日本呼吸器学会雑誌/第 49 巻第 2 号/平成 23 年 2 月 10 日発行 定価 1,500 円 (税込)

会員の年間会費 (16,000 円) には購読料が含まれています.

THE JOURNAL OF THE JAPANESE RESPIRATORY SOCIETY/Vol. 49 No. 2 2011

編集●日呼吸会誌編集委員会 (代表) 河野修興

発行●日本呼吸器学会 (代表) 永井厚志

東京都文京区本郷 3-28-8 日内会館 7 階/〒113-0033・☎ (03) 5805-3553・振替/00120-4-175161

FAX (03) 5805-3554

印刷●株式会社杏林舎 東京都北区西ヶ原 3-46-10/〒114-0024・☎ (03) 3910-4311~5

学会ホームページ <http://www.jrs.or.jp> 学会問い合わせ info@jrs.or.jp

「日本呼吸器学会雑誌」投稿原稿チェックリスト

□に✓を付けて原稿と一緒に送りください。

論文は原則として以下の順序で構成し、項目毎に改頁した。

- 論文の種類（「原著」、「症例報告」など）、表題、著者全員の氏名・会員番号・所属機関、代表者の連絡先
- 要旨
- キーワード、短縮表題
- 緒言、研究対象（方法）、成績、考察
- 謝辞
- 引用文献
- 図・表とその説明
- 英文抄録
- 項目毎に改頁をした。
- Corresponding author が本会員であり、学会費の未納がないことを確認した。
学会費が未納の場合、および、すでに掲載されている論文掲載料が未納の場合、査読を受けないことを申し添えます。
- 筆頭を含む共著者の人数（ 名）
- 著者同意書、著作権に関する同意書、他誌重複投稿をしていないことに関する著者の誓約書、投稿原稿チェックリストを作成した。
- A4用紙にダブルスペース（1行おき）で入力した（和文、英文とも）。
- フォントサイズは12ポイント以上とした。
- 表題のページを第1頁として引用文献の頁まで、頁番号を下中央に記入した。
- 表題は40字以内とした。
- 要旨は400字以内とした。
- キーワードは5語以内で、日本語と英語を併記した。
- 短縮表題は25字以内とした。
- 引用文献は原著30編以内、症例報告（画像診断）20編以内、短報6編以内、Letters to the Editor 3編以内とし、記載方法は投稿規定を遵守した。
- 図・表・写真に用いる文字は英字とし、説明も英文、半角文字で作成した。
- 表はA4サイズとし、図・写真はキャビネ大以上A4（原則）、高品質とした。
- 組織学的病理所見については、写真だけで病理診断が可能か、もしくは著者が示したい病態の判読可能な写真である。
- 図・表・写真の裏面に著者名、図・表・写真の番号および上方を明記したラベルを添付した。
- 英文抄録は250語以内（表題、著者名、所属機関、連絡先は含まない）とした。
- 英文は均等割り（両端揃え）にしないで左詰めにした。
- 英文の質を確認した。
- 原稿の長さは、図・表を含め（1点400字換算）、以下のようにした。
 原著：10,000字以内
 症例報告・画像診断：6,000字以内
 総説：12,000字以内
 短報：3,000字以内
 Letters to the Editor：1,000字以内
- 本文・図・表を各々3組（写真のコピーは不可）とともに著者同意書、著作権に関する同意書、他誌重複投稿をしていないことに関する著者の誓約書、投稿原稿チェックリストを添えて簡易書留で送付。

総文字数（ 字） 氏名（ ）

著者同意書

(社) 日本呼吸器学会殿

論文名 _____

表記論文は、下記に署名した全員の協力によって執筆されたものであり、これまでに他誌に発表されたことがなく（抄録のみの発表は除く）、また投稿中でもないことを証明します。

表記論文が日本呼吸器学会雑誌に掲載された場合は、その著作権を（社）日本呼吸器学会に譲渡することに同意します。

全著者の自筆署名を列記してください。捺印は不要です。

筆頭著者名 _____ (年 月 日)

共著者名 _____ (年 月 日)

共著者名 _____ (年 月 日)

共著者名 _____ (年 月 日)

共著者名 _____ (年 月 日)

共著者名 _____ (年 月 日)

共著者名 _____ (年 月 日)

共著者名 _____ (年 月 日)

共著者名 _____ (年 月 日)

共著者名 _____ (年 月 日)

日本呼吸器学会雑誌に掲載された原稿の著作権に関する同意書

社団法人 日本呼吸器学会 殿

論文の種類（原著・症例報告・症例報告（画像診断）・総説・短報・Letters to the Editor）
（該当するものを○で囲んでください）

論 文 名： _____

筆頭著者氏名： _____

上記論文の日本呼吸器学会雑誌掲載にあたり、投稿規定の17.「本学会誌に掲載された論文の著作権は日本呼吸器学会に属する」に従い、日本呼吸器学会雑誌に掲載された際は、その内容の全ての著作権が日本呼吸器学会に帰属することについて、ここに同意致します。

年 月 日

筆頭著者署名

_____ 印

日本呼吸器学会雑誌に投稿する論文が
他誌への重複投稿をしていないことに関する著者の誓約書

社団法人 日本呼吸器学会 殿

論文の種類（原著・症例報告・症例報告（画像診断）・総説・短報・Letters to the Editor）
（該当するものを○で囲んでください）

論 文 名： _____

筆頭著者氏名： _____

上記論文の日本呼吸器学会雑誌掲載にあたり、投稿規定の2.「投稿論文はRespirology誌からの二次発表を除き、他誌に発表されていないものとする」について、ここにあらためて原稿の内容が国内外を問わず他誌に未発表であることを誓います。

年 月 日

筆頭著者署名

_____ 印